

地域環境保全功労者功績内容等

県別	氏名・年齢・住所・職業	主要経歴		功績
岩手県	村井 宏 (むらいひろし) 73歳 盛岡市厨川5-8-6 (社)東北地域環境計画研究会会長	平成3年3月～平成7年3月 平成3年7月～平成14年3月 平成4年12月～平成5年5月 平成4年5月～現在 平成7年4月～平成15年3月 平成14年9月～現在	岩手大学大学院連合農学 研究科教授 岩手県自然環境保全審議会 委員 岩手県環境教育推進 基本方針検討委員会委員 東北地域環境計画 研究会役員(現会長) 岩手県環境アドバイザー 環境パートナーシップいわて代表	平成7年から県の環境アドバイザーとして県内各地で講演を行うなど、地域の環境学習活動の推進に努めている。また、県民、事業者、環境団体、行政等が対等なパートナーシップのもと、環境と共生する持続的発展が可能な地域社会の構築を目指して、平成14年9月に設立された「環境パートナーシップいわて」の代表を務めるなど様々な環境施策の展開に大きく貢献している。
岩手県	久慈市立大川目小学校 (くじりつおおかわめしょうがっこう) 久慈市大川目町第14地割45-1	設立 構成員	明治6年8月15日 171名 (児童157名 教職員14名)	多年にわたり環境教育の一環として郷土の自然理解及び環境問題について実践活動面を中心として取り組んでおり久慈川の水質調査、水生生物調査、学校周辺道路のクリーン活動等を通じて、地域環境を大切にしている感性、環境保全にかかわるようとする態度を養っている。また、環境学習の成果を地域で発表するなど、環境保全に対する意識を児童だけでなく地域の人々にも高める活動に取り組んでいる。
秋田県	木川 弘 (きかわひろし) 73歳 秋田市東通1-6-10 秋田市クリーンアップ作戦を すすめる会顧問	昭和37年～平成2年3月 平成2年3月～平成12年7月 平成12年7月～現在 平成14年7月～ 平成14年9月	秋田市クリーンアップ 連絡協議会副会長 同協議会会長 秋田市クリーンアップを すすめる会顧問 あきたエコ&リサイクルフェスティバル 実行委員会会長	昭和37年秋田県五城目保健所勤務以来一貫して環境衛生指導員として、特に環境保全、美化活動の普及活動の指導にあたる。定年退職後、現在まで秋田市クリーンアップ連絡協議会会長などを務めるなど、地域活動を積極的にリードし現在に至っている。その結果、各地での、特に河川、海岸に対する廃棄物の不法投棄防止運動の機運が高まり、河川の水質改善、水生生物が多数繁殖する河川が見られるようになるなど、大きな指導効果を上げ、全県各地のクリーンアップ活動の定着につながった。
山形県	山形地域地下水利用対策協議会 (やまがたちいきちかすいりよづたいさくきょぎかい) 山形市旅籠町2-3-25 代表者 会長 原田孝一	設立 会 員	昭和51年9月27日 225団体	昭和51年から、山形地域の都市化による地下水の減少を防ぐため、水環境に関する講演会・研修会等の普及啓発活動、地下水の人工涵養や雨水浸透施設の設置などの実践活動を通じて、地盤沈下対策に貢献した。

福島県	いわき地域環境科学会 (いわきちいきかんきょうかがくかい) いわき市平上荒川字長尾30 代表者 松崎和敬	設立 会 員 昭和63年5月14日 維持会員33団体 個人会員160名	多年にわたり 環境についての科学的調査研究、発表会や講演会、機関誌等を通じて、会員や地域住民の環境保全に関する意識啓発に尽力した。	
茨城県	廣戸 京子 (ひろときょうこ) 69歳 東茨城郡美野里町羽鳥2657-5 茨城県環境アドバイザー	昭和49年～現在 平成2年～ 現在 平成2年～現在 平成6年～現在	美野里町生活学校 運営委員長 茨城県生活学校連絡会 事務局長、副会長、会長、顧問 茨城県環境審議会委員 茨城県環境アドバイザー	多年にわたり 地球にやさしいくらしの普及啓発のほか、県環境審議会基本計画策定小委員会委員として同計画の改定作業に尽力、また、県生活学校連絡会顧問として環境保全意識の高揚などに貢献した。
栃木県	菅又 三男 (すがまたみつお) 65歳 宇都宮市吉野2-4-14 下野新聞社特別顧問	平成6年6月 平成6年8月 平成10年8月 平成12年8月～ 平成14年7月	(株)下野新聞社常務取締役 栃木県環境審議会委員 栃木県環境審議会会長 栃木県環境審議会会長再任	8年間にわたり 栃木県環境審議会委員を務め、その間、会長を歴任し、環境基本条例、環境基本計画、環境影響評価条例、廃棄物処理計画などの県の環境保全の重要施策の策定に大いに貢献した。 また、下野新聞社において、「健康と環境を考える」をスローガンとした同社主催の「歩け歩け大会」を企画し、県内各地をごみ拾いを兼ねてウォーキングする活動を推進した。
群馬県	大澤 善次郎 (おおさわぜんじろう) 70歳 桐生市相生町1-27-9 足利工業大学総合研究センター 客員研究員	平成10年4月～現在 平成4年4月～現在 平成12年4月～現在 平成4年4月～平成8年3月 平成10年4月～現在 平成5年11月～平成6年7月 平成6年8月～現在 平成12年11月～現在	群馬大学名誉教授 中国瀋陽化工学院名誉教授 足利工業大学総合研究センター 客員研究員 マテリアライフ学会会長 化学発光(CL)技術研究会会長 群馬県公害対策審議会委員 群馬県環境審議会委員 群馬県公害審査会委員	小型低コストでダイオキシンの発生もないフロン分解装置を研究開発し、フロン回収体制の確立に大きく貢献した。 また、土に戻る生分解性繊維による植生マットを開発し、自然と共生する画期的な製品として環境保全に大きく貢献した。 さらに、群馬県環境審議会委員、廃棄物処理計画部会長として、廃棄物の減量化計画策定に携わり環境行政の推進に大きく貢献した。
群馬県	丸岡 文夫 (まるおかふみお) 59歳 高崎市大八木町1767-4 群馬県ホテル連絡協議会会長	昭和60年7月～現在 昭和62年11月～現在 昭和61年7月～現在 昭和54年4月～ 昭和61年6月 平成4年2月～ 平成10年2月 平成13年1月～現在	群馬県ホテル連絡協議会会長 高崎にホテルを呼び戻す会会長 水と緑の会 事務局長 環境浄化推進協議会 事務局長 群馬県環境にやさしい 県民運動推進会議委員 群馬県河川整備計画審査会 委員	多年にわたり 県ホテル連絡協議会会長として、ホテルに関する生態、増殖の研究等、生息環境の調査保全、愛護活動の情報交換、啓蒙及び水辺環境の保全を通じて、県内の自然保護活動の進展に大きく貢献した。 また、県河川整備計画審査会委員として、環境に配慮した河川整備計画を提言するなど、河川の水辺環境の保全に貢献した。

千葉県	我孫子野鳥を守る会 (あびこやちよまもるかい) 我孫子市中峠3759-5 島崎純造方 代表者 木村稔	設 立 会 員	昭和47年3月 1団体 200名	31年間にわたり野鳥の調査と保護、さらに手賀沼や我孫子市周辺の自然環境の保全に関する普及啓発活動に尽力するとともに、清掃や沼の浄化等の環境美化にも取り組んでいる。また、手賀沼周辺の野鳥の生態などを掲載した会報の発行や平成7年に刊行した「手賀沼の鳥」は、長期間継続した調査とその記録を集大成したもので、関係者から高い評価を受けている。「手賀沼の鳥」の刊行に向け作業中である。
東京都	板橋環境管理研究会 (いたばしかんきょうかんりけんきゅうかい) (旧名称:板橋公害防止管理者研究会) 板橋区仲宿54-10 代表者 会長 朝岡勇	設 立 会 員	昭和53年4月1日 105社	昭和53年に設立された、板橋区内の工場・事業場の公害防止管理者や環境保全担当者からなる自主研究組織である。公害防止、環境保全や環境マネジメントシステムの構築・維持等のため、環境情報の提供、マニュアルの発行、講演会、セミナーの開催等幅広い活動を通じ、永年にわたり地域の環境改善の取り組みに顕著な成果をあげている。
東京都	日野の自然を守る会 (ひののしぜんをまもるかい) 日野市東豊田3-15-12 (片岡様方) 代表者 飯島利三	設 立 会 員	昭和47年7月 300余	発足以来、毎月、自然観察会を実施し、市民等に対する緑化の普及啓発活動を行っている。また、市の委託による市内の植生の書籍や動植物ガイドブックの発行に関わってきた。その他、緑の募金や市主催の苗木配布への協力、市主催の自然観察会への講師派遣など市の環境行政に積極的に協力してきた。このように、市内の自然環境に対する実践的な保全啓蒙活動に長期間大きく貢献している。
神奈川県	開成町ホタルの里づくり研究会 (かいせいまちほたるのさとづくりけんきゅうかい) 足柄上郡開成町延沢773 開成町町役場企画課内 代表者 代表幹事 井上義光	設 立 会 員	昭和63年5月11日 1団体 29名	昭和63年の設立以来、ホタルの調査・研究・飼育・巡視などの実践活動や、生息環境整備のための関係行政機関への提言などにより、ホタルの飛び交う地域の再現に大きく貢献した。 また、ホタル観察会の開催や、ホタル幼虫の放流活動を通じた子供たちへの環境教育など、地域の自然環境保全思想の普及啓発にも尽力した。
新潟県	特定非営利活動法人 環境NPO良環 (りょうかん) 三条市元町17-13 代表者 川瀬和敏	設 立 会 員	平成12年10月12日 75名	環境改善活動の実践と普及に努めてきており、法人格取得後は知名度とともに活動実績も向上している。特に現在は市民を巻き込んだ共用自転車事業の実施や廃食用油の燃料化事業を計画するなど環境改善に積極的に貢献している。また、行政が躊躇する分野においても積極的に活動を展開しており、今後の活躍も期待できる。

<p>富山県</p>	<p>經 和夫 (きよかつお) 72歳 黒部市北野66 (社)富山県浄化槽協会副会長</p>	<p>昭和61年3月～現在 昭和48年6月～ 昭和50年6月 昭和47年4月～ 昭和49年4月 平成12年5月～現在 昭和48年10月～ 平成9年7月 平成9年7月～現在</p> <p>黒部ケ-ン(株)代表取締役 日本環境保全協会理事 富山県清掃協会副会長 富山県環境保全協同組合 副理事長 (社)富山県浄化槽協会理事 (社)富山県浄化槽協会副会長</p>	<p>(社)富山県浄化槽協会副会長等として、多年にわたり浄化槽の適正な設置・施工・保守点検の推進、浄化槽に関する知識の普及や技術向上、浄化槽法定検査の推進等に尽力している。特に昭和56年には、浄化槽の社会的役割の重要性に鑑み、社団法人設立発起人として、同協会の法人化に寄与し、浄化槽に対する信頼の向上を通じて、水質環境の保全に大いに貢献している。</p>
<p>長野県</p>	<p>柴 益一 (しばますかず) 70歳 上伊那郡辰野町大字伊那富1032-29 諏訪湖周衛生管理組合副組合長</p>	<p>昭和45年6月～ 昭和47年4月～ 昭和51年4月～ 昭和60年9月～</p> <p>湖北衛生管理組合理事 湖北衛生管理組合常任理事 湖北衛生管理組合副組合長 諏訪湖周衛生管理組合 副組合長</p>	<p>昭和45年、県下に先がけて設置者による自主管理組合として設立された湖北衛生管理組合の立ち上げ及び保守管理の確立に中心的な役割を果たし、現在も副組合長として浄化槽の適正な維持管理に尽力している。組合事業である浄化槽パトロール等の各戸訪問においても、先頭に立ち普及啓発に努めるなど他の組合役員の模範となっている。</p>
<p>岐阜県</p>	<p>南市橋杭瀬川のホタルを守る会 (みなみいちほしきいせがわのぼたるをまもるかいい) 大垣市南市橋町1660-1 代表者 会長 山田五男</p>	<p>設 立 会 員</p> <p>昭和49年5月 1団体</p>	<p>多年にわたりかつてのホタルの名所をよみがえらせようと、昭和49年に「ホタルを守る会」が設立され、地域内を流れる杭瀬川の環境保全活動や、ホタルの幼虫調査、また、ホタルの勉強会を兼ねた環境パトロールを継続していることを評価するもの。</p>
<p>岐阜県</p>	<p>神岡の名水を守る会 (かみおかのめいすいをまもるかいい) 吉城郡神岡町大字船津2028-1 代表者 山本正明</p>	<p>設 立 会 員</p> <p>昭和62年9月14日 3団体 約100名</p>	<p>町民に古くから利用されてきた公共水屋の整備・修繕及び清掃を毎年実施し、町民の湧水保全に関する意識を高めるとともに、町民に安らぎの場を提供するなど「おいのある町づくり」に貢献した。</p>
<p>静岡県</p>	<p>生活協同組合コープしずおか (せいかつきょうどうくみあい) 静岡市黒金町59-6 代表者 理事長 越淵堅志</p>	<p>設 立 構成員</p> <p>昭和24年10月1日 531名(役員数31名、職員数500名)</p>	<p>地域生協である「生活協同組合コープしずおか」は、「生命を尊び、自然を大切に、人-社会-自然の調和のとれた平和な社会の実現」をテーマに、組合員活動や事業で環境を守ろうと様々な分野で環境保全に幅広く取り組んでいる。これらの総合的な取り組みは、地域の環境保全の推進に大きく寄与している。</p>

<p>愛知県</p>	<p>杉 隆一 (すぎさきりゅういち) 71歳 名古屋市名東区猪高台2-204 名古屋大学名誉教授</p>	<p>平成7年 平成8年～平成14年3月 平成14年 昭和63年2月～平成6年7月 平成6年8月～平成13年3月 昭和63年12月～ 平成4年3月 平成2年4月～平成4年3月 平成4年7月～ 平成13年4月～ 平成14年7月</p> <p>名古屋大学名誉教授 名城大学教職課程部教授 名城大学非常勤講師 愛知県公害対策審議会 専門委員 愛知県環境審議会専門委員 愛知県温泉審議会委員 愛知県環境影響評価 審査会議構成員 愛知県自然環境審議会委員 愛知県環境審議会委員・ 温泉部会長</p>	<p>多年にわたり 県公害対策審議会専門委員、県環境審議会委員として専門の地球物理学の知見を活かし、環境保全に関する基本的事項の調査、審議を通じて環境保全行政の推進に尽力された。 さらに、県温泉審議会委員、県自然環境保全審議会温泉部会長として、審議会の適正な運営に格別の努力を払われ、自然環境に係る環境保全行政の推進に尽力された。</p>
<p>三重県</p>	<p>あつまろらい 南牟婁郡御浜町志原1806 代表者 勝田善二郎</p>	<p>設 立 会 員 平成3年9月15日 1団体 50名</p>	<p>三重県南部に「志原川」という川があります。葦原だけでなく、ハマナツメが自生し、数多くの野鳥やトンボが観察できる自然の宝庫と言える場所をフィールドにして、多年にわたり 地道に川の清掃活動や水辺環境の保全活動に取り組んでおります。その成果は、地元のみならず、他地域にも広がりを見せています。平成13年度には、三重県知事から「三重県環境功労賞」を受賞しました。</p>
<p>滋賀県</p>	<p>堤 昭子 (つみてるこ) 68歳 愛知郡愛東町大字池之尻183 「びわ湖を守る水環境保全 県民運動」県連絡会議 せっけん 洗剤部会幹事</p>	<p>昭和52年4月～ 平成13年3月 昭和55年4月～ 昭和57年3月 昭和60年4月～ 昭和61年3月 平成2年4月～平成9年3月 平成4年4月～平成8年3月 平成8年4月～平成12年3月 平成9年4月～平成14年3月 平成12年4月～ 平成14年3月 平成14年4月～現在</p> <p>池之尻地域生活改善 グループリーダー 愛東町消費学習グループ会長 彦根・愛犬地域消費学習グループ会長 滋賀県消費学習グループ連絡会 理事 「びわ湖を守る水環境保全県民運動」 県連絡会議(以下「びわ湖会議」と いう)水環境活動部会部会員 びわ湖会議運営委員会委員 滋賀県消費学習グループ連絡会 会長 びわ湖会議 運営委員会副運営委員長 びわ湖会議 せっけん 洗剤部会幹事</p>	<p>昭和52年から地域の消費者活動のリーダーとして尽力した。また、消費者運動の中から、せっけん使用をはじめとした暮らしの中から環境を考える生活実践の取り組みを積極的に展開した。平成4年からは、「びわ湖を守る水環境保全県民運動」県連絡会議の役員を務め、せっけん運動をはじめ琵琶湖の水環境保全に関する実践活動及び普及啓発の推進に尽力している。</p>

滋賀県	豊穰の郷赤野井湾流域協議会 (ほうじょうのさとあかのいわん りゅういききょうぎかい) 守山市吉身2-5-22 代表者 北田俊夫	設立 会 員	平成8年9月29日 100団体 430名	多年にわたり 琵琶湖の赤野井湾に流入する河川の水質調査を実施するとともに、水質の改善や豊かな生態系を取り戻すためホタルの幼虫の飼育や放流、モデル河川づくりなどの実践活動を展開した。また、水環境サロンの開設、小学校から募集した水環境改善ポスターの展示や発表会、講演会など流域住民が主体となって、地域環境保全の普及啓発活動に尽力した。
京都府	環境と資源を守る会 (かんきょうとしげんをまもるかい) 福知山市岡ノ二町9-61 代表者 余田ツル子	設立 会 員	平成2年2月 約150名	多年にわたり 牛乳パック回収活動を積極的に実施するとともに、市の消費生活展やフェスティバル等で森林資源保護及び環境保全を広く市民に呼びかけるなど、地域環境保全の普及啓発に大いに貢献した。
兵庫県	近藤 浩文 (こんどうひろぶみ) 71歳 神戸市東灘区森北6-6-32	昭和51年4月～ 平成元年～平成5年3月 平成2年4月～平成13年3月 平成9年4月～ 平成14年12月～	兵庫県自然保護指導員 菊池貝類研究所研究員 兼西宮市企画調整部囑託 関西保育福祉専門学校 非常勤講師 西宮市環境審議会委員 兵庫県環境審議会委員	多年にわたり 県の自然保護指導員として、六甲山系を中心に県内の自然環境の優れた地域を巡回し、県への情報提供や利用者への自然保護に関する指導を行うなど県の自然環境保全行政の推進に協力した。また、神戸・阪神地域を中心に、カルチャーセンターや小中学校において自然観察の指導や環境学習を行うなど自然環境保全の普及啓発活動に尽力した。
岡山県	榎並 英子 (えなみ ひでこ) 71歳 岡山県岡山市山崎301-45 ノートルダム清心女子大学名誉教授	昭和59年4月～ 平成5年4月～平成8年3月 平成8年4月～平成11年3月 平成7年10～平成11年9月 昭和57年11月～平成6年7月 平成6年8月～平成14年8月 平成10年1月～	ノートルダム清心女子大学教授 " 家政学部家政学科長 " 人間生活学部人間生活学科長 瀬戸内海環境保全審議会委員 岡山県公害対策審議会委員 岡山県環境審議会委員 岡山県公害審査会委員	岡山県公害対策審議会委員及び岡山県環境審議会委員として、昭和57年から20年余りの長きにわたり また、国の瀬戸内海環境保全審議会水質部会の初めての女性部会長として、平成7年から4年間にわたり 本件の抱えている重要課題である瀬戸内海や児島湖の水質保全行政を中心に環境保全に多大の貢献をしている。
広島県	尾道市門田町内会 (おのみちしもんでんちょうないかい) 尾道市門田町19-37 代表者 会長 小島 雅由	設立 会 員	昭和29年 19名 (役員19名、構成員686世帯)	地域の河川である門田川の浄化を目的として、炭焼き窯を設置しそこで生産した木炭を各家庭に配布し、排水マスに入れることで、一次浄化し、直接河川に設置することにより二次浄化している。その他、門田川にシュロガヤツリを植栽し、水質浄化を促進するとともに、ホタルの幼生の放流や炭焼き教室等を通じて、地域住民への環境啓発にも努めている。

<p>広島県</p>	<p>広島大学附属福山中学校エコクラブ (ひろしまだいがくふぞくふくやまちゅうがっこうえこくらぶ) 福山市春日町5-14-1 代表者 代表サポーター 平賀 博之</p>	<p>設 立 平成7年 会 員 122名</p>	<p>酸性雨をテーマに継続的観測をしており、前アメリカ副大統領ゴア氏の提唱により、全世界で実施している「グローバルプログラム」に参加し、インターネットにより北海道から沖縄までの約50校と共同して酸性雨観測を行っている。その他、身近な環境問題についても体験を通じた学習活動を展開している。</p>
<p>徳島県</p>	<p>徳島県漁協女性部連合会 (とくしまけんぎょきょうじょせいぶれんごうかい) 徳島市東沖洲2-13 代表者 住村 裕子</p>	<p>設 立 45年 会 員 28団体 2617名</p>	<p>設立当初より身近な環境保全活動に取り組んでおり、環境に優しい「わかしお石鯛」の普及、海浜清掃運動、また、台所の汚水を徹底的に減らす運動を展開している。海浜清掃活動は、「浜辺のクリーンアップ作戦」として月1回実施している。また、環境に配慮したライフスタイルは、「私たちの家庭でも実行できる」を合い言葉に洗剤の適量使用、お風呂のお湯の再利用等、海の環境を守るために取り組んでいる。こうしたことのほか、「根こそぎとらない漁業」に取り組み、海の環境保全に努めている。</p>
<p>香川県</p>	<p>善通寺こどもエコクラブ (ぜんつうじこどもえこくらぶ) 香川県善通寺市弘田町1031 代表者 井上 修</p>	<p>設 立 平成8年4月1日 会 員 82名</p>	<p>善通寺市内全ての子ども会活動を基盤としたこどもエコクラブ活動に長年にわたり熱心に取り組む、子どもたちの環境への感心を喚起し続けるとともに、こどもエコクラブ活動を支えていくリーダーの養成にも熱心に取り組んでいる。また、香川県内のこどもエコクラブ同士の交流や指導者による研修、情報交換などにも常に中心となって取り組んでいる。</p>
<p>大分県</p>	<p>佐藤 眞一 (さとう しんいち) 75歳 大分市上野丘1-27 大分生物談話会会長</p>	<p>昭和23年3月 大分県公立学校教諭 昭和63年3月 大分市立荷揚小学校定年退職 昭和62年11月 教育功労者表彰(文部大臣) 平成7年6月 大分県環境保全功労者表彰(大分県知事) (大分生物談話会) 平成11年6月 地域環境保全功労者表彰(環境庁長官) (大分生物談話会) 平成11年11月 大分市文化の日表彰</p>	<p>多年にわたり「大分生物談話会」の会長として、大分市及び周辺地域において、動植物の生息状況、生物環境の変化と人間生活との関わり等の調査を幅広く実施し、調査結果を日本爬虫両生類学会及び会誌等で発表する一方、県や市の環境行政に協力するとともに、自然環境をテーマとした講演活動など市民に対する啓発活動にも積極的で、地域における自然環境の保全に尽力している。また、大分県レッドデータブック作成においては、両生類の編集に携わり、ライフワークであるオオイタサンショウウオの研究分野では、数々の研究成果は高く評価され、その保護活動に邁進している功績は極めて大である。</p>

宮崎県	<p>延岡アースデイ実行委員会 (のべおかアースデイじっごういんかい)</p> <p>延岡市瀬之口町 2- 2- 15 代表者 谷平 興二</p>	<p>設 立 会 員</p> <p>平成6年4月24日 実行委員 30名 参加団体 113団体</p>	<p>多年にわたり 市民が地球環境について考え行動することを目的に、河川や海岸、公園等の清掃、植樹等を企画するほか、フリーマーケット、エコ商品普及、植林等の環境保全活動に取り組み、また、環境フォーラムやパネル展開催等を通じた啓発活動を行うなど、地域環境保全の普及啓発活動等に尽力した。</p>
鹿児島県	<p>目原 克彦 (めはら かつひこ) 65歳 鹿児島県鹿児島市武岡 1- 23- 3 前(財)鹿児島県環境技術協会 専務理事</p>	<p>昭和 38年 昭和 49年 平成 2年 平成 3年 平成 6年 平成 9年 平成 9年 4月 平成 14年 6月</p> <p>鹿児島県水産商工部水産課技師 衛生部環境局公害対策課水質係長 林務水産部水産振興課長 保健環境部環境保全課長 保健環境部環境センター所長 退職 (財)鹿児島県環境技術協会専務理事 退職</p>	<p>昭和 38年度から平成 9年度までの 32年間、環境行政を中心に活躍した。特に閉鎖的な内湾である鹿児島湾の水質保全のため、全国に先駆けて窒素、燐の水質保全目標を定めた「鹿児島湾ブルー計画」及び世界的にも貴重な湖である池田湖の「水質環境管理計画」の策定とその推進に中心的な役割を果たすとともに、初代環境センター水質部長を歴任するなど本県の水質保全行政に大きく貢献した。</p>
横浜市	<p>みどり川と風の会 (みどりかわとかぜのかい)</p> <p>横浜市緑区竹山 3103- 331寺田芳枝 代表者 高木 宥</p>	<p>設 立 会 員</p> <p>平成7年9月1日 20名</p>	<p>多年にわたり 横浜市緑区内を流れる鶴見川を中心に、水質調査や自然観察会、カヌー体験会、川辺のコンサートなどの水辺環境保全活動を行っている。特に地元の学校や自治会、他の市民団体並びに区・市・県・国土交通省とも連携して活動を行い、環境行政の推進に協力しながら環境保全に関する普及啓発活動に貢献しています。</p>
横浜市	<p>野庭馬洗川自然愛護会 (のばうまあらいがわしぜんあいごかい)</p> <p>横浜市港南区野庭町 604- 117 代表者 稲垣 ヌキ子</p>	<p>設 立 会 員</p> <p>平成8年5月1日 15名</p>	<p>多年にわたり 横浜市港南区内を流れる馬洗川を中心に、自然観察会(ホタル、トンボ)、せせらぎ緑道の整備、地元小学校や他の市民団体並びに市・区とも連携して自然環境保護及び自然環境保全活動を展開し、環境保全に関する普及啓発活動にも貢献しています。</p>

<p>名古屋市</p>	<p>森下 宗彦 (もりした むねひこ) 56歳 愛知県愛知郡長久手町塚田1801-702 名古屋市公害健康被害認定審査会委員</p>	<p>昭和55年11月～</p>	<p>名古屋市公害健康被害認定審査会委員 愛知県公害健康被害認定審査会委員 愛知医科大学助教授</p>	<p>22年間にわたり 名古屋市公害健康被害認定審査会委員として 公害健康被害の補償等に関する法律に基づく被認定者に対する認定の更新等に係る医学的審査業務に従事し、公正かつ円滑な、補償救済事業の推進に尽力した。</p>
<p>京都市</p>	<p>山内 寛 (やまうち ひろし) 68歳 京都市山科区西野阿芸沢町1-7 山科団地B-914 京都市保健協議会連合会会長</p>	<p>昭和59年4月～ 平成4年4月～ 平成13年4月～ 平成13年9月～ 平成11年7月～ 平成13年6月～ 平成6年～平成7年3月 平成8年8月～ 平成8年11月～平成11年5月 平成11年6月～</p>	<p>西野保健協議会会長 山科保健協議会連合会会長 京都市保健協議会連合会会長 京都市環境審議会委員 京都市廃棄物減量等推進審議会委員 京(みやこ)のアジェンダ21フォーラム常任幹事 京都市ごみ減量推進員 めぐる君推進友の会会長 京都市ごみ減量推進会監事 京都市ごみ減量推進会議理事</p>	<p>多年、京都市保護協議会連合会会長等を歴任し、ごみ減量実態調査、資源ごみ分別指導、環境学習、植樹等を通して、地域環境保全の普及活動に尽力した。特に、政令市で初めて学乳パックをトレットペーパーにリサイクルして独自ブランドで販売する再生紙利用促進事業に貢献し、環境行政の推進に大いに協力した。</p>
<p>広島市</p>	<p>田中 博 (たなか ひろし) 76歳 広島市安佐南区山本8-31-14</p>	<p>昭和32年～ 昭和63年～ 平成8年 平成11年 平成14年～</p>	<p>元宇品中心に海藻類の調査開始 調査をもとに海の環境汚染や環境保全の重要性についての普及啓発活動開始 元宇品の海藻」出版 ひろしまの海藻」出版 元宇品自然観察ガイドブック」監修 太田川子ども体験学習活動実行委員会委員就任</p>	<p>多年にわたり 元宇品を中心に瀬戸内海の海藻の調査研究を行い、その調査の結果をまとめた「元宇品の海藻」や「ひろしまの海藻」を出版。また、学校・公民館・企業等で、講演会や環境学習における講師を数多く担当するなど、海藻の調査をもとに海の環境汚染や環境保全の重要性についての普及啓発活動を行い、地域の環境教育・学習事業に大きく貢献。</p>
<p>北九州市</p>	<p>横田 達之輔 (よこた たつのすけ) 69歳 福岡県北九州市八幡東区大蔵1-16-25 会社役員 株式会社椋組 代表取締役社長</p>	<p>昭和35年11月20日 昭和39年7月1日 昭和52年2月4日 昭和57年4月1日 平成元年4月1日 平成12年4月3日</p>	<p>株式会社椋組入社 代表取締役社長に就任 (社)北九州市環境整備協会 理事長 " 副理事長 (社)日本空調衛生工業協会評議員 北九州市環境整備協同組合設立 理事長に就任</p>	<p>多年にわたり 浄化槽の水質向上に努め、地域環境保全のため、昭和52年、社団法人北九州市環境整備協会を設立し、現在も地域環境保全の普及啓発活動に尽力をつくしている。</p>